

競りの活気に驚き

大学生田崎市場「体験」

熊本市西区の熊本地方卸売市場（田崎市場）で13日、大学生を対象にした「市場体験」があり、約60人が市場の仕組みや食品管理の大切さなどを学んだ。

食品の安全性について理解を深めてもらうと、8月の食品衛生

月間を前に市保健所と同市場が毎年開催。食品関係の学部や学科がある県立大、東海大、熊本保健科学大、崇城大、尚絅大に参加を呼び掛けた。

午前6時すぎ、学生たちは活気のある鮮魚と青果の両市場で競り

を見学。手のひらサイズの小さな黒板に買値を書き、威勢良く競り落としていく仲買人の姿を興味深そうに見入っていた。

熊本保健科学大4年のおおてきの榎木明日香さんは「競りを見たのは初めて。物事が次々進み、プロはすごいと思った」と驚いていた。場内のいけす見学や、残留農薬の検査体験などもあった。（酒森希）



田崎市場で競りの仕組みについて職員から説明を受ける大学生＝熊本市西区